

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等	市道維持管理機械器具購入事業	宍粟市	4,400,000	4,400,000	宍粟市 総事業費 4,400,000円

（備考） 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道維持管理機械器具購入事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		宍粟市				
交付金事業実施場所	兵庫県宍粟市山崎町清野地内 他					
交付金事業の概要	ミニショベル購入					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次宍粟市総合計画後期基本計画 第1章 住み続けたい、住んでみたいまち 基本方針2 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり 基本施策8 道路網・上下水道の整備・維持					
事業開始年度	令和5年度	事業終了（予定）年度			令和5年度	
事業期間の設定理由	—					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和5年度	
	1カ月に作業する回数	10回／月	成果実績	回	15	
			目標値	回	10	
			達成度	%	150	
	評価年度の設定理由					
	事業完了後、速やかに評価を実施する					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	—					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	ミニショベル購入	活動実績	台	1		
		活動見込	台	1		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考		
総事業費	4,400,000					
交付金充当額	4,400,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,400,000					

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
ミニショベル購入	売買契約	日本キャタピラー合同会社（たつの市）	4,400,000
交付金事業の担当課室	宍粟市建設部建設課		
交付金事業の評価課室	宍粟市建設部建設課		

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記（6）の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道香住港湾線舗装繕繕事業	香美町	4,400,000	4,400,000	香美町 総事業費 8,850,600円
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等	市道伊由市場小西線道路改良事業	朝来市	7,000,000	7,000,000	朝来市 総事業費 20,932,225円
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等	あさご芸術の森美術館事業	朝来市	4,969,000	4,969,000	
4	公共用施設に係る整備又は事業運営等措置	日本遺産活用事業	朝来市	1,077,000	1,077,000	

（備考） 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道香住港湾線舗装修繕事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		兵庫県香美町		
交付金事業実施場所		兵庫県美方郡香美町香住区若松 地内		
交付金事業の概要		<p>道路舗装修繕工事 L=200m、A=1,800㎡</p> <p>町道香住港湾線は、道路沿いに住宅地と商業施設（小売店、飲食店等）が混在することにより、住民だけでなく観光客や運送事業者などの車両も多く通行する主要道路の一つである。このたび、老朽化による舗装路面のひび割れ等が見られ、通行に支障をきたす恐れがあることから、利用者の安全な通行を確保するため、舗装修繕工事を実施。</p> <p>なお、このたびは当該路線（総延長1,659m）のうち、漁港からの搬出入や小売店等の多いエリアで特に舗装のひび割れが目立ち、観光地としての景観上差しさわりのある区間に絞って修繕を行うものとした。</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>第2次香美町総合計画（平成28年度～令和7年度）</p> <p>基本方針4 みんなで創る魅力あるまち</p> <p>主要施策2 交通網が充実したまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路網の整備（一部抜粋） <p>町道の修繕費用の抑制・平準化を図るため、長寿命化計画の見直しを随時行い、計画に基づいた修繕を実施するとともに、計画的な除雪機械の更新や貸与機械の拡充、委託料の見直し等、効果的な除雪体制を構築します。</p>		
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度
事業期間の設定理由		—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標			評価年度	令和5年度	
	一連区間のうち、車両通行の安全性を向上した区間の増加	車両通行の安全性を向上した区間の割合 (現状60%→目標72%)	成果実績	%	72		
			目標値	%	72		
			達成度	%	100		
	評価年度の設定理由						
	単年度事業のため、事業完了後、速やかに評価を実施する。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度	
	施工延長	活動実績	m	200			
		活動見込	m	200			
		達成度	%	100			
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考			
総事業費	8,850,600						
交付金充当額	4,400,000						
うち文部科学省分	0						
うち経済産業省分	4,400,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
町道香住港湾線舗装修繕工事		指名競争入札		(株)中村建設		9,728,400 (うち交付金事業分8,850,600)	
交付金事業の担当課室	香美町建設課						
交付金事業の評価課室	香美町財政課						

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名		交付金事業の名称		
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等		市道伊由市場小西線道路改良事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		朝来市			
交付金事業実施場所		朝来市伊由市場地区			
交付金事業の概要		沿線に避難所があり災害等有事の際の避難経路としての道路機能の改善、地域生活環境の改善と利便性の向上を図るため、道路改良工事を実施。道路改良工事 L=40.0m、W=5.0m			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>ありたいまちの姿5 市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を持続する 施策コード【27】 生活基盤の持続可能な維持管理・確保 市民の暮らしを支える生活基盤を未来につなげるため、地域とともに助け合いながら持続可能な維持管理を推進します。 ①暮らしとともにある生活道路の確保</p>			
事業開始年度		令和5年度		事業終了（予定）年度 令和5年度	
事業期間の設定理由		—			
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和5年度
	一連区間のうち、避難経路の通行可能な幅員を確保した区間の増加	一連区間のうち、避難経路の通行可能な幅員を確保した区間の割合 現状：60% 目標：88%	成果実績	%	88
			目標値	%	88
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	早期に評価を実施可能なため				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	—				
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度	
	道路改良延長	活動実績		m	40		
		活動見込		m	40		
		達成度		%	100		
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考			
総事業費	9,807,600						
交付金充当額	7,000,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	7,000,000						
交付金事業の契約の概要							
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額			
	道路改良工事	一般競争入札	能見建設（株）（朝来市）	9,807,600			
交付金事業の担当課室	朝来市都市整備部建設課						
交付金事業の評価課室	朝来市企画総務部財務課						

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	事業名	交付金事業の名称	
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	あさご芸術の森美術館事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		朝来市	
交付金事業実施場所		朝来市多々良木地区	
交付金事業の概要	<p>地域・世代を超えた交流など本市の活性化を図るため、あさご芸術の森美術館の維持管理を行います。特に、芸術文化の発展に資するための施設の電気代・通信費・上下水道等8ヶ月分及び、施設修繕費などの維持運営一式を実施。</p> <p>①美術館維持運営管理費（休館日：年末年始、毎週水曜日、祝日の翌日） 開館日数：247日</p> <p>②あさご芸術の森アートフェスティバル2023秋</p> <p>○アートマーケット 開催日時：11月21日 開催場所：あさご芸術の森美術館彫刻庭園 イベント概要：会場内にアートブース、食ブース、模擬店ブース、SDGs・生物多様性の紹介・体験できるブースを設け、朝来市民をはじめ、多くの来場者に気軽にアートの魅力や楽しさを知ってもらうため開催</p> <p>○風と光のページェント 開催日時：10月21日～22日 開催場所：あさご芸術の森美術館 イベント概要：ハロウィンをテーマにしたキャンドル演出、ステージイベントや作品のライトアップを実施</p> <p>③美術館企画展</p> <p>○かいけつゾロリ大冒険展 開催日時：7月15日～9月3日 開催場所：朝来芸術の森美術館 イベント概要：ゾロリと仲間たちのわくわくドキドキの大冒険を描いた原画や資料など約200点を展示</p>		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>ありたいまちの姿1 「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む 施策コード【6】 豊かな心を育む芸術文化の振興 芸術作品を鑑賞する機会や場を充実させ、多様な芸術表現活動を支援することによって、人々の豊かな心を育み、文化的で創造的な暮らしを実現するとともに、芸術文化活動が活発になることで、市民が魅力的で親しみの持てるまちとしての誇りや愛着を深めます。</p> <p>①市民の芸術文化活動の促進 ②開かれた芸術文化施設の管理と運営</p>		
事業開始年度	令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度
事業期間の設定理由	—		

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和6年度	
	美術館年間入館者数 14,000人	美術館年間入館者数	成果実績	人	17,169	
			目標値	人	14,000	
			達成度	%	122.6	
	評価年度の設定理由					
	事業実施翌年度、早期に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	—					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	美術館開館日数	活動実績	日	247		
		活動見込	日	250		
		達成度	%	98.8		
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考		
総事業費	8,710,708					
交付金充当額	4,969,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,969,000					

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
印刷費	随意契約 (少額)	(有)スタジオゲイル (豊岡市)	121,000
照明器具修繕	随意契約 (少額)	(有)安達ミシン電器 (朝来市)	280,000
展示室壁面修繕	随意契約 (少額)	やまき塗装店 (朝来市)	273,130
電気料金	随意契約 (特命)	関西電力 (株) (大阪市)	1,652,981
水道使用料	随意契約 (特命)	朝来市公営企業管理者	34,780
電話料金	随意契約 (特命)	西日本電信電話 (株) (神戸市)	69,915
下水道料金	随意契約 (特命)	朝来市公営企業管理者	27,280
イベント業務委託料	随意契約 (特命)	兵庫県公立大学法人 (神戸市)	490,000
イベント業務委託料	随意契約 (特命)	兵庫県公立大学法人 (神戸市)	209,000
イベント業務委託料	随意契約 (特命)	(有)マックスアート (姫路市)	470,000
イベントテント、椅子等借上料	随意契約 (少額)	(有)レンタルハウス (養父市)	238,700
会場看板等作成費	随意契約 (少額)	やまき塗装店 (朝来市)	27,500
印刷費	随意契約 (少額)	(有)スタジオゲイル (豊岡市)	277,200
新聞折込代	随意契約 (特命)	(株)読宣WEST豊岡折込センター (豊岡市)	29,222
展示撤去業務委託料	随意契約 (特命)	東映 (株) (大阪市)	4,510,000
交付金事業の担当課室	朝来市まちづくり協働部芸術文化課		
交付金事業の評価課室	朝来市企画総務部財務課		

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	事業名	交付金事業の名称
4	公共用施設に係る整備又は事業運営等措置	日本遺産活用事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		朝来市
交付金事業実施場所	朝来市生野町ほか	
交付金事業の概要	<p>平成29年度に認定された日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉦石の道」に関連した地域振興・観光振興・芸術振興・文化振興それぞれの分野において事業を展開し、さらなる認知度向上と活用に向けた市民参加の機運醸成、地域全体の活性化を図る。</p> <p>①生野書院特別展</p> <p>○特別展 開催日時：9月23日～11月26日 開催場所：生野書院 イベント概要：生野鉦山閉山50年を迎え、生野鉦山の歴史を振り返る特別展を実施</p> <p>○花壇整備 設置場所：生野マインホール前</p> <p>②鉦石の道関連事業等</p> <p>○サイクリングイベント 開催日時：10月8日 開催場所：出発地JR生野駅、到着地サイクリングステーション朝来 イベント概要：鉦石の道沿線のスポット巡りや地元住民との交流を行うイベントを開催</p> <p>○フォトスポット整備 設置場所：神子畑選鉦場跡</p> <p>③記念講演会事業 開催日時：令和6年2月10日 開催場所：あさご・ささゆりホール イベント概要：愛媛県新居浜市及び新潟県佐渡市から講師を招き、鉦山遺産群の観光活用、地域活性化、広域連携を地域住民とともに考え、推進するシンポジウムを開催</p>	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>ありたいまちの姿2 人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確保する 施策コード【8】 まちの力になる観光の振興 多様な観光資源の創出等により観光ブランド力を高め、人と人とのつながりを大切に「おもてなし」による交流人口の拡大と、観光振興による地域経済の活性化を推進します。 ③ネットワークを活かした広域観光の推進 施策コード【12】 地域の誇りとなる歴史文化遺産の保存・活用 地域の歴史と先人たちの営みや思いを現在に伝えるほか、歴史文化遺産の価値付けと適切な保護を推進することで、価値の再認識や地域に対する誇りや愛着を育むとともに、歴史文化遺産の保存・活用による地域の活性化を図ります。 ②歴史文化遺産の利活用の推進</p>					
事業開始年度	令和5年度		事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由	—					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和6年度	
	日本遺産関係施設イベント開催月来場者数	日本遺産関係施設イベント開催月来場者数	成果実績	人	33,177	
			目標値	人	20,000	
			達成度	%	165.9	
	評価年度の設定理由					
	事業実施翌年度、早期に評価を実施					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
—						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	日本遺産関連イベント開催日数	活動実績	日	57		
		活動見込	日	29		
		達成度	%	196.55%		
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考		
総事業費	2,413,917					
交付金充当額	1,077,000					
・うち文部科学省分						
・うち経済産業省分	1,077,000					

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
事業者謝礼	随意契約(特命)	岡和義(朝来市)	42,000
印刷費	随意契約(少額)	(株)ニック(朝来市)	169,950
花壇整備	随意契約(少額)	(株)安積創庭(朝来市)	379,368
イベント業務委託料	随意契約(少額)	NPO法人Montagne(朝来市)	174,900
フォトスポット整備	随意契約(少額)	(有)三浦鉄工所(朝来市)	1,270,000
講師等旅費	随意契約(特命)	秦野親史ほか1名	155,290
印刷費	随意契約(少額)	(株)ニック(朝来市)	222,409
交付金事業の担当課室	朝来市生野支所 朝来支所 教育委員会事務局文化財課		
交付金事業の評価課室	朝来市企画総務部財務課		

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

別紙

I. 事業評価総括表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道道場浅倉線路面補修事業	豊岡市	4,400,000	4,400,000	豊岡市 総事業費 4,400,000円
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道横行岸谷線他舗装整備事業	養父市	4,111,800	4,111,800	養父市 総事業費 4,111,800円
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道上岩宮野線舗装繕繕事業	神河町	15,518,000	15,518,000	神河町 総事業費 17,732,000円

（備考） 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道道場浅倉線路面補修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		豊岡市		
交付金事業実施場所	豊岡市日高町道場地内			
交付金事業の概要	テレビ、携帯電話、防災行政無線の各中継局へのアクセス道路である市道の路面補修を行うことで、有事の際の施設復旧の遅れを防ぐこと、維持管理の負担軽減を図るため事業実施。 【本年度事業量】 市道道場浅倉線路面補修工事 L=109m			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	1. 豊岡市基本構想の長期目標・・・「命への共感に満ちたまち」 2. 豊岡市基本構想の戦略目的・・・「小さな世界都市 -Local&Global City-」 3. 基本構想における戦略体系 主要手段・・・自然との共生が徹底されている 具体的手段（1）・・・災害に備え、地域の防災力が高まっている 取組方針（1）・・・災害に備えた行動や訓練が実践されている 具体的手段（2）・・・自然と折り合う暮らしがまちに根付いている 取組方針（2）・・・持続可能な地域資源の利用が促進されている			
事業開始年度	令和5年度	事業終了（予定）年度	令和5年度	
事業期間の設定理由	—			

交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和5年度	
	道路の機能改善が図れ、地域住民の安全・安心の確保及び維持管理の負担が軽減される区間の増加	本市道において、補修が必要な区間のうち、補修工事を実施し機能改善を図れた区間の割合 現状：21% 目標：39%	成果実績	39%		
			目標値	39%		
			達成度	100%		
	評価年度の設定理由					
	事業完了後、早期に効果が確認できるため					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	—					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	市道路面補修延長	活動実績	m	109		
		活動見込	m	109		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考		
総事業費	4,400,000					
交付金充当額	4,400,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,400,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
市道路面補修		指名競争入札		恵工業(株)(豊岡市)		4,400,000
交付金事業の担当課室	豊岡市日高振興局地域振興課					
交付金事業の評価課室	豊岡市日高振興局地域振興課					

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	事業名	交付金事業の名称			
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道横行岸谷線他舗装整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		養父市			
交付金事業実施場所	養父市大屋町横行地内				
交付金事業の概要	舗装工 A=321m ² L=80m				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	養父市総合計画5本柱に掲げている項目 ・「赤ちゃんからお年寄りまで、安心して暮らせるまち」 【目標】 生活道路である市道横行線において舗装対策を実施することにより安全性を向上させる。				
事業開始年度	令和5年度		事業終了（予定）年度		令和5年度
事業期間の設定理由	—				
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和5年度
	安全に走行できる道路の確保	市道横行線、市道横行岸谷線において、舗装対策が必要な区間のうち、対策した区間の割合 現況：43% 目標：49%	成果実績	%	49
			目標値	%	49
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	単年度事業での実施のため				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	—				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	舗装整備延長	活動実績	m	80		
		活動見込	m	80		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考		
総事業費	4,111,800					
交付金充当額	4,111,800					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4,111,800					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
舗装整備事業		条件付き一般競争入札		(有)中尾組		4,111,800
交付金事業の担当課室	養父市まち整備部建設課					
交付金事業の評価課室	養父市まち整備部建設課					

II. 事業評価個表（令和5年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称				
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道上岩宮野線舗装修繕事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		神河町				
交付金事業実施場所		神河町高朝田地内				
交付金事業の概要		道路舗装修繕工事 L=608m、A=3,170㎡ 町道上岩宮野線（第3種第5級）はバス路線や通学路でもあり、住民生活において重要な道路であるが、舗装路面が老朽化によりひび割れ・沈下等、破損箇所が多くみられ通行に支障をきたしているため、利用者が安全に通行できるよう舗装修繕工事を行う。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		（主要計画）第2次神河町長期総合計画 （目標）基本目標4 人が行き交い、出会うまちを創造する 2 道路・交通 実現を目指す将来像 ・外出せきる手段があるまち ・交通の便がよいまち ・5つの谷が効率よく循環できるまち				
事業開始年度		令和5年度	事業終了（予定）年度		令和5年度	
事業期間の設定理由		令和5年度において舗装修繕工事は完了するため				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和5年度
		車両通行の安全性を向上した区間の割合	現状：47.9% 目標：73%	成果実績	%	73%
				目標値	%	73%
				達成度	%	100%
		評価年度の設定理由				
		令和5年度において舗装修繕工事は完了するため				
交付金事業の定性的な成果及び評価等						
—						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和5年度	年度	年度
	施工延長	活動実績	m	608		
		活動見込	m	608		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和5年度	年度	年度	備考		
総事業費	17,732,000					
交付金充当額	15,518,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	15,518,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
町道上岩宮野線舗装修繕工事		指名競争入札		松本工業株式会社神河支店		17,732,000
交付金事業の担当課室	神河町 建設課					
交付金事業の評価課室	神河町 建設課					

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
 - (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
 - (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
 - (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
 - (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
 - (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
 - (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
 - (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
 - (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
 - (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。
 - (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。